



可決



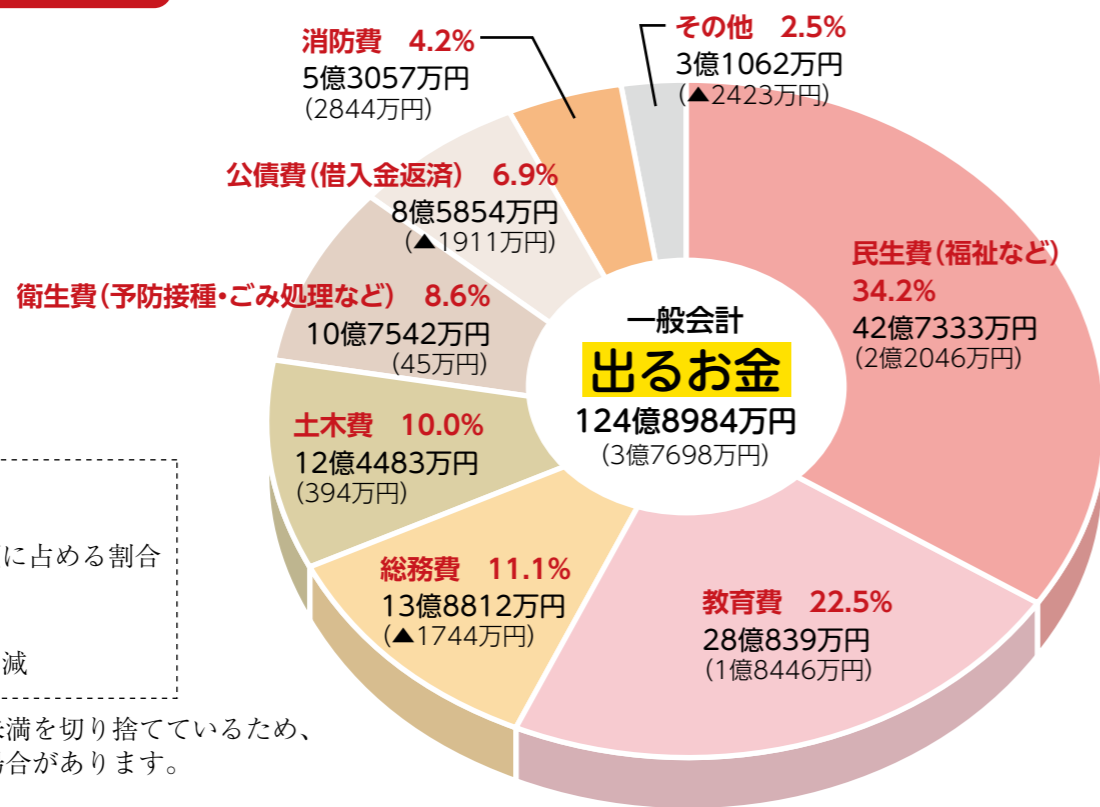
教育施設の整備に重点予算

一般会計124億8984万円

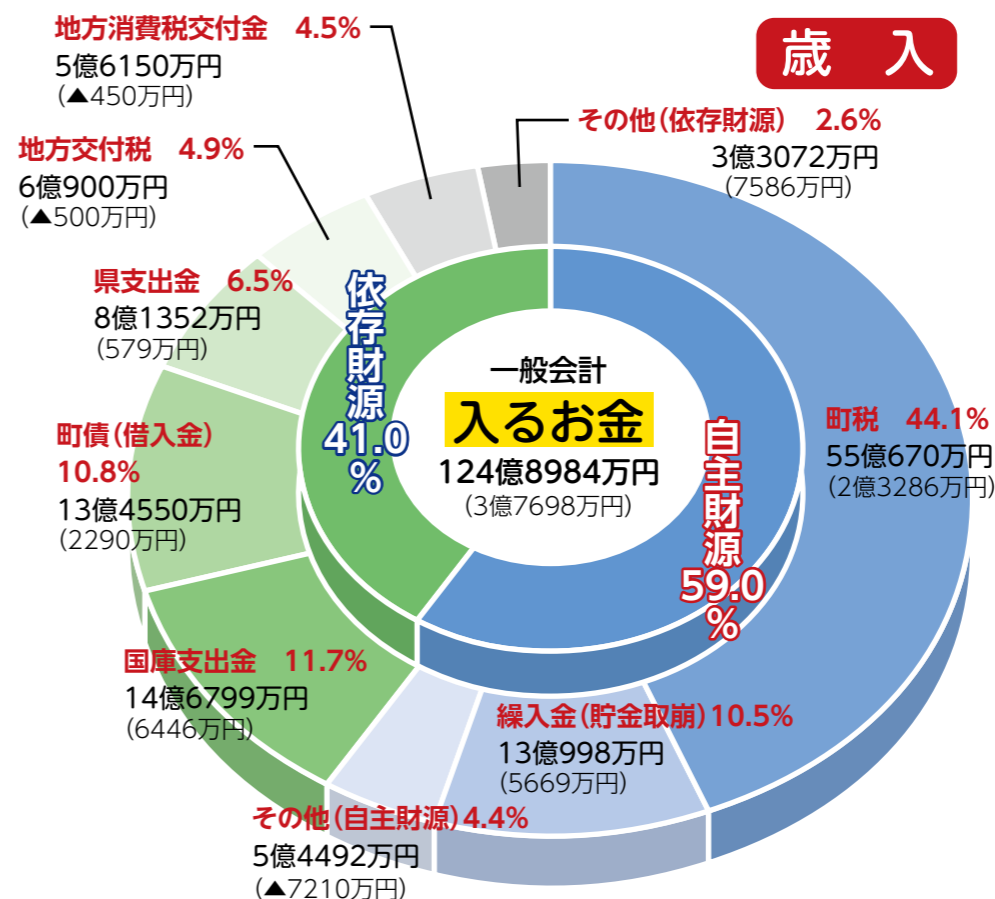
総額238億9138万円

給食調理施設を新しく!

歳出



歳入



グラフの見方

上段：科目、総額に占める割合
中段：予算額
下段：対前年度増減

※各項目で1万円未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
▲はマイナス

●後期高齢者医療事業 特別会計
■反対討論

兵庫県後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者の保険料軽減特例措置を段階的に縮小することを決定しました。このことより年収80万円以下の保険料が2019年度から2倍に2020年度から3倍となり、保険料の負担が増えることから暮らしが更に苦しくなるため、この予算は認められません。

歳出の主なもの、民生費が5.4%の増で、全体の34.2%を占めています。
教育費では、小学校の学校給食施設の整備や中央公民館の研修棟の改修などにより、7.0%の増となっています。
総務費では、電子自治体推進事業で増となる一方、大気汚染常時監視事業で減となるため、1.2%の減となっています。
土木費では、昨年度に公営企業法の全部適用となった下水道事業会計支出事業において減となる一方、望海公園の整備や町道三子二見線道路改良事業、喜瀬川遊歩道補修事業が増となるため、前年度より0.3%の増で、ほぼ同額となっています。
衛生費では、建設工事が進む広域ごみ処理事業、口タウシルスや風しんなどに対する予防接種の費用助成拡充などで増となる一方、塵芥処理施設維持管理事業などで減となるため、前年並みとなっています。

歳入の主要財源である町税は、歳入全体の44.1%を占めています。
国から財源調整で配分される地方交付税は、前年度より0.8%の微減を見込んでいます。
国庫支出金は新設保育所等整備交付金などで4.6%の増となっています。
県支出金は教育・保育給付費負担金が減となりましたが、参議院議員通常選挙費委託金が増となったため、0.7%の微増となっています。
町債は、学校給食施設整備などに係る発行により、1.7%の増となっています。

一般会計予算は、前年度より3億7698万円3.1%の増となりました。

平成31年度(2019年度)当初予算額

区分	予算額	対前年度比
一般会計	124億8984万円	3.1%
特別会計	国民健康保険事業	39億7234万円 3.1%
	財産区	13億5238万円 ▲2.5%
	介護保険事業	26億951万円 5.8%
	後期高齢者医療事業	4億4281万円 8.5%
	特別会計の計	83億7706万円 3.2%
水道事業会計	11億560万円 ▲2.9%	
下水道事業会計	19億1887万円 7.7%	
総額	238億9138万円	3.2%